2021年10月30日（土）10：30～12：00、本会会員で綾部市長の山崎善也さんをお招きしてオンライン報告会を開催しました。事前登録された会員が19名参加しました。

山崎さんは、京都府綾部市ご出身、九州大学ご卒業後、1980年に日本開発銀行に入行、米国サンフランシスコ大学経営大学院にてMBA取得後、１９９０～９３年まで、IFCのラテンアメリカ局に在籍されました。その後、現日本政策投資銀行の企業戦略部長、国際部長、綾部市理事を経て、綾部市長として2010年より現在3期目を務めておられます。

山崎さんからは、添付のPDF資料に基づきご説明がありました。最初に市長に立候補される経緯や思いをご説明頂き、全体の印象としては、山崎さんがやりがいをもって元気に市長としての職務に励まれてきている具体的なご様子がうかがえました。特に限界集落を抱えながらも、都会から綾部市への移住を推進して一定の成果があがっており、水源の里条例を制定して定住支援・都市との交流・特産品振興・生活基盤整備をされていること、災害・危機管理対策は市長としての最重要な責務となっていること、水道等のインフラの維持管理に多大なご苦労があること、世銀での経験等が役立って国際交流にも精を出されていることなど、数多くの角度から市政についてお話を伺いました。

外国人労働者のことについて大野泉さんからご質問があったほか、小寺さん（水害対策）、水野さん（地域における金融の役割と期待）、浅沼さん（ゼロ成長下のもとでの幸福の在り方）、池上さん（水道等の公共インフラの維持管理）、黒田さん（地方のデジタル化）からもそれぞれご質問を頂きました。

山崎さんおよびご協力頂きました綾部市の秘書広報課の大東様・野間様には心より感謝しております。

（記録：安間）